

優秀賞

お父さんは宇宙飛行士

アメリカヒューストン日本語補習校四年 野口美樹

ゴゴゴゴ...

七月二十六日、午前十時三十九分、お父さんを乗せたスペースシャトル、ディスカバリー号がはるかな宇宙へと旅立ちました。それと同時に、私が聞いたことのない、すごい音が耳にひびいてきました。

その朝、私は打ち上げ見たさのあまり、午前六時四十九分、目ざましの鳴る一分前に起きてしまいました。

宇宙センターに行つて、打ち上げ二時間くらい前に、私達は大きなホワイトボードがある部屋に行きました。そこでクルーの子ども達でクルーを応援する大きな絵を書きました。真ん中に、大きなミッションパッチをかいて、そのまわりに、クルーメンバー一人一人の顔絵や、メッセージをかきました。私はお父さんの顔絵をかいてみました。でも一番むずかしかったのは、真ん中に大きくかいたミッションパッチでした。それでも大きい子達で一生けん命かきました。そのうちに打ち上げの時間がじりじりと近づいてきました。

私達は、打ち上げ七分前に、とても暑くてまぶしい屋上に出てきました。屋上から見えたスペースシャトルは五キロはなれていて小さく見えましたが、私にはとても近くにあるように感じました。そして、打ち上げ二分前、私は急に、スペースシャトルコロンビアとそのクルーのことを思い出してしまつて、今までのドキドキが倍以上になってしまいました。屋上に出た時はすわっていたのに、身ぶるいして、いつの間にかみんなといっしょに屋上のさくにつかまつてスペースシャトルを見守るようになってしまいました。

三、二、一、発射！ものすごい音とけむりを発して、私のお父さんが長年待つたしゅん間がやっ

てきました。スペースシャトルがはなつてる光は

とてもまぶしく、雲にかくれても、どこにあるのか分かりました。ごう音は、しん動で伝わってきて、たぶんお父さんが乗っているから他の音とは一味ちがうように聞こえたのかもしれない。シャトルはともうれしそうに、どうどうと、青い空にけむりの絵をかくように見えなくなっていました。

打ち上げから八分後にメイン・エンジン・カット・オフの放送がありました。スペースシャトルが無事宇宙に行つたという意味です。それがうまくいったと聞いたお母さん達はみんななっていました。私はなきはしなかつたけど、感動して、「ヤッター！」という感じでした。

最近はお父さんと会つたり、話したりできないので、とてもさみしいです。でも、その分お父さんが宇宙でがんばっている感じがします。一生けん命宇宙飛行士としての仕事をして、お父さんに早く元気に帰ってきてほしいです。

